

- 岡崎市 -

## 乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり「QRUWA戦略」

## 1. はじめに

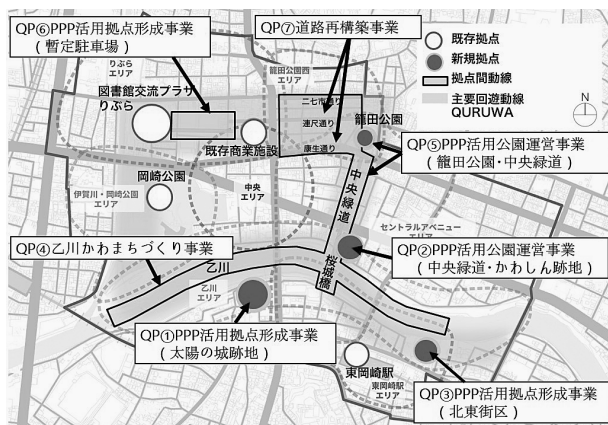
岡崎市では、市街地を東西に流れる一級河川乙川と中心市街地一体の乙川リバーフロント地区（約157ha、以下RF地区）においてかわまちづくり、名鉄東岡崎駅地区整備、岡崎公園を中心とする歴史まちづくり、康生地区周辺でのリノベーションまちづくり、エリア全体の景観まちづくりに一体的に取り組むとともに、乙川の河川敷の遊歩道、堤防道路、都市計画道路や公園、緑道などの公共空間の再生等を進め、これらを含めた地区内の公共資産を活かしながらまちの活性化を促す公民連携まちづくり「QRUWA戦略」の実現に取り組んでいる。

## 2. QURUWA戦略とは

RF地区内にある既存集客施設（図書館交流プラザりぶら、岡崎城、民間商業施設）と今回再整備した公共空間を繋げた主要回遊動線が岡崎城城郭の「総曲輪」の外縁と重なること、動線が「Q」字を描くことから「QRUWA」と名付けている。この主要回遊動線上の良質な公共空間を活用して、優良な民間企業を引き込む公民連携プロジェクトを実施することにより、回遊性を実現させ、その波及効果により、まちの暮らしの質の向上とエリアの価値向上を図る戦略である。

QRUWA戦略では、現在、7つのQRUWAプロジェクトを位置付けている（下図）。

この中で、QP①PPP活用拠点形成事業として、



QRUWAプロジェクト

優先交渉権者からは、コンベンションホールやホワイエを2階に配置することで乙川への眺望に配慮した本市初となる宿坊型ホテル誘致のほか、建物と河川空間の間に位置する堤防道路を歩行者化することで河川空間との一体化を図る斬新なアイデアなど、QRUWAエリアへの波及効果を意識したものが提案された（下図）。



提案されたコンベンションのイメージ

QP②PPP活用公園運営事業として、P-PFI制度により公募設置等予定者から事業地の魅力向上が乙川リバーフロント地区の活性化や回遊性に波及する事業で、籠田公園、現在工事中の中央緑道との連続性を意識した配置計画に配慮した点などQRUWAエリアへの波及効果を意識したものが提案された。

## 3. 今後の展開

主要回遊動線QRUWA上での公的不動産として出来上がった空間を活用し、いかにまちの賑わい・新しい暮らし方・楽しみ方を生み出すということが大切と考えている。

今後、ウォーカブルなまちづくりを進める中で、乙川に面する建築物や建て替えなどする際には、統一した景観デザインを取り入れ、QRUWAエリア内に新たにマンションやオフィスビルを建設する際には1階部分へ店舗を誘致するなど、まちに開かれた空間を誘導する施策について検討したいと考えている。

これからも、市内の事業者の皆様と連携を深め、事業展開しやすい環境づくりを一層すすめるよう、公民連携によるまちづくりを展開していきたいと考えている。

岡崎市 都市整備部 都市施設課 香村 尚将